

よいことのために手をとりあおう

2025～26年度 国際ロータリー会長メッセージ

▶例会日：第1・第3木曜日（12：30）  
その他の木曜日（18：30～19：30）  
▶例会場：白河市新白河駅前 東京第一ホテル新白河  
▶事務局：〒961-0957 福島県白河市道場小路96-5  
（白河商工会議所内） ☎23-3101 FAX22-1300

ホームページURL <https://shirakawa-west-rc.jp>  
メールアドレス [yoshida@shirakawa-cci.or.jp](mailto:yoshida@shirakawa-cci.or.jp)  
facebook <https://www.facebook.com/ShirakawaWestRotaryClub/>

会長 藤田 龍文  
幹事 運天 直人

創立1986年

# 白河西ロータリークラブ

SHIRAKAWA WEST ROTARY CLUB

## 第1900回例会

令和8年5月7日  
12:30～13:30



創立40周年

○ソング

- 君が代、奉仕の理想

○ビジター

- 米山奨学生 タパ マガル ベルマティ様

○スマイルBOX

- 藤田龍文会長（本日は、大竹憂子会員、卓話ありがとうございました。次年度は交換留学生受入というロングランの事業頑張ってください。応援いたします。）
- 運天直人幹事（ベルマティさんようこそ！初のRCを楽しんでいって下さい。また大竹会員卓話ありがとうございました。）
- 堀田一彦会員（誕生日のお祝いありがとうございます。）
- 根本あゆみ会員（お誕生日プレゼントありがとうございます。大分大人になりました（笑）大人らしいふるまいを心がけて頑張ります！）
- 前原俊治会員（誕生日祝ありがとうございました。かなり老化が進んでいます。）
- 吉野敬之会員（結婚記念日祝いありがとうございます。タパさんようこそ一年間頑張ってください。）
- 村上堅二会員（結婚のお祝いありがとうございます。楽しみにしております。）
- 金田昇会員（ゴールデンウイークは楽しめましたでしょうか、私は孫三昧でした。米山奨学生タパさんようこそ、よろしくお祈りします。）
- 沼田重一会員（大竹憂子会、卓話ありがとうございました。今年度も残すところ2か月となりました。スマイルの目標額が少し足りません。皆様よろしくスマイルお願いします。）

▶第1900回例会出席状況

(R8年5月7日)

Ⓐ 出席免除を受けていない正会員数	57名
Ⓑ 出席免除の適用正会員数	17
Ⓘ 全正会員数	74名
Ⓒ Ⓐの出席者数	30名
Ⓓ Ⓐのメイクアップ者数	0名
Ⓔ Ⓑの出席者数	10名
Ⓖ = Ⓒ + Ⓓ + Ⓔ (メイクアップ補填後の出席会員数)	40名
Ⓕ = Ⓘ - (Ⓑ - Ⓔ)	70
Ⓙ = Ⓖ / Ⓕ × 100 (例会出席率)	62.8%



●5月7日 理事会

## 本日のプログラム

### ■会長の時間

藤田龍文会長



皆さん、こんにちは。ゴールデンウィーク明けの大変お忙しい中お集まりいただきまして誠にありがとうございます。皆さん、それぞれゴールデンウィークお過ごしの方は違ったかと思いますが、ゆっくりお休みになれた方や逆に商売上繁忙期だったという方いろいろいらっしゃるかと思います。本日お客様が1名とあとご紹介の方が1名ということで、米山奨学生のネパール出身のベルマティさん。後程、大住委員長のほうから紹介してご挨拶いただきますのでよろしくお願ひいたします。そして、皆さん入り口正面のほうを見ていただきますと林さん、本日から事務局員さんが吉田さんと林さんの2名体制になるということで、こちらも後程、林さんのほうから一言ご挨拶いただきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。皆さんの正面の今、運天幹事の左手にあります感謝状が西郷村から届きました。先日の大型モニター2台の寄贈に対しての感謝状ということで、こちらも皆様にご報告をさせていただきたいと思ひます。本日会員卓話ということで大竹憂子会員のほうから卓話をいただきます。本年度は国際奉仕委員長としてポリオ募金に大変ご尽力いただいております。地区内1位を目指して更に年度末ではありますが追い込みをかけて、次年度金田ガバナー年度の地区大会の際には是非地区ナンバーワンの募金額で挑んでみたいと思っております。今日の卓話の内容になりますが、こちらはもう次年度対応ということで、次年度青少年奉仕委員長として大竹憂子会員が交換留学生の受け入れということで、大変ご尽力されてるということで、その部分の話が多くなるかと思ひます。交換留学生、ちょうど白河の西郷から石川義塾の生徒さんが台湾に渡られるということで、その代わりに台湾の学生の方が女性ということでわかったようですし、だんだんこれからホームステイ先等を皆さんいろいろご協力をお願いしなくちゃいけないという段階になってきてますので、是非その点も含めまして会員の皆さん一年間ご協力いただければと思ひます。次年度は米山奨学生のベルマティさんもういらっしゃいますし、交換留学生の台湾の方、ジン・ジョウさんという台湾の学生の方も、そちらの方も毎回例会に来るようになり、学校の関係で夜例会の参加になると思ひますが、来年は西ロータリーは更に国際色豊かな例会になってくかと思ひますし、金田ガバナー年度となりますので、地区行事に対しても更にアンテナを強く上げていく年度になるかと思ひます。そして今週の5月9日10日は、全国のインターアクト研修会ということで、全国のインターアクトの方々が郡山に集まりまして研修会をするということで、こちらも島田会員等が泊りがけで郡山まで行って研修会やっていたというところで頼もしく思っております。そして5月17日、後程矢田部実行委員長のほうからお話があるかと思ひますが、クラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナーが「華の湯」でございます。前日の16日の準備や17日の会場のお手伝いということで、

皆様にこちらご協力をいただいて主幹が白河西ロータリークラブになりますので、次年度の金田ガバナー年度の大事な地区のラーニングセミナーとなっておりますので、こちらもお時間ある方はご参加いただければと思ひますので、本日は月初めということもあり、メニュー沢山ありますので、是非楽しんでいただければと思ひます。

### ■幹事報告

運天直人幹事

- 白河赤十字奉仕団委員長 安澤壮一：令和8年度白河赤十字奉仕団連絡協議会総会開催のお知らせ
- 白河ユネスコ協会会長 小野利廣：令和8年度白河ユネスコ協会総会の開催について(通知)
- 地区ガバナー：ポールハリスソサエティ 認証並びにピンバッチの送付について
- 泉田ガバナー事務所：財団室NEWS2026年度5月号
- 白河南ロータリークラブ会長 茨木龍芳：白河南ロータリークラブ週報の送付について

### ■米山奨学生カウンセラーの委嘱状

●国際ロータリー第2530地区 白河西ロータリークラブ

大住由香里殿



### ●米山奨学生カウンセラー

大住由香里会員



皆さん、こんにちは。改めまして、今年4月1日から米山奨学生のカウンセラーになりました大住です。先月、奨学生のカウンセラーのオリエンテーションということで行かせていただいたんですけども、その時に挨拶させてもらったのが、大きな不安と多少の面倒くささを抱えてきましたということで、皆さんの前で報告したんですが、ベルマティさんに会って頑張っている姿だったりとか、頑張ってる事を聞いたらもう子育て終わって母性が消えかかっていたんですけども、もう沸々と母性が出てきて、本当に全力でベルマティをサポートしていきたいと思った次第でございます。ベルマティの紹介をさせていただきます。彼女は去年に国際ビジネス公務員大学の国際ビジネスマネジメント科というところに入学してしております。今年2年生になりまして、この米山奨学金をいただきたいという一心で一生懸命勉強されて面接を受けてそこで選ばれた中のお一人です。ネパール出身で、お名前がタパ・マガル・ベルマティさん。22歳の本当に私の子供世代なのかなというところの女性です。学校には300人ぐらいの留学生が来ているとい

うことで、一年間学生としているんですが日本の方々と触れ合うことがほとんどないそうです。外国人のクラスなのでなかなか日本の友達を作ることができないって言ってました。なので、是非ロータリーに来た時に大人のお友達を作っていただければなと、繋がりを作っていただければなと思っております。早速、会長からも名刺を作っていいという承諾を受けまして、渡部さんのほうにも作成のほうをお願いをしております。彼女は昼間学校に行きながら、夜12時半から朝の5時半くらいまでバイトをしております。なので、倉庫、クロネコヤマトの仕事をされて、夜中皆さんが寝ている時に仕事をして、朝6時ぐらいに帰ってきて、そして一度仮眠をとってそこから学校に行き、学校から帰ってきたらいろんな支度をして一度また仮眠をして12時半にはまた仕事に行き、そしてお金を貯めて生活費を貯めて、そして学費を払って両親に迷惑のかからないようにという思いで、その中で勉学をいそいでいます。なので、この米山奨学金をいただいたら大切に、そして自分の事のために使っていただけたらなと思っておりますので、毎月そんな訳で夜の例会はお仕事を休むするとクビになると本人が言ってますので、昼間は学校が公欠になるというお話ですので、昼間の例会にお邪魔させていただいて皆さんとの交流をはかっていきたいと思っておりますので、どうぞ一年間オリエンテーションでも説明があったんですけども、お客様ではなくロータリーの一員、未来を担う一員として扱ってほしいというお話がありました。なので、会場の準備だったりとか、イベントに呼んでお手伝いをしてもらったりとか、そういうこともさせていただくことも可能だというお話もいただいておりますので、どうぞ一年間ベルマティを仲間として向かい入れていただければと思いますので、よろしく申し上げます。

### ●米山記念奨学生

タパ・マガル・ベルマティ様



皆さん、こんにちは。このような機会をいただきありがとうございます。初めまして。私の名前はタパ・マガル・ベルマティと申します。出身はネパールです。現在は生活をしながらかアルバイトと勉強を頑張っています。私はネパールで生まれ育ちました。自然がとても綺麗で人と人の繋がりをとっても大事にする文化があります。家族や友達の過ごす時間はとても大事でした。子供の頃から外国に行って勉強したいと思ったから、私いろいろな言葉や文化や考え方を学びたいと思ったからです。そして、日本を選んだ理由は安全で仕事をしながら進んでいって、人々は親切を真面目にだから日本を選びました。あと日本に来たばかりの頃は日本語が難しくて大変でした。例えば、コンビニに買い物行くと学校授業についてもとっても難しかったです。しかし、友達と先生たち、まわりの人たちが優しく助けてくれたから、今は自分のために自信を持つことができました。現在は今、専門学校で勉強しております。夢は将来はいい会社に入って、日本と母国のために繋がるような仕事ができたらいいなと思ったからです。アルバイトではヤマトで荷物を積む仕事をしています。仕事によって日本のマナーや時間の

大事さとチームワークの大事さを学びました。まだまだ勉強中でありますので、毎日毎日少しづつ成長して感じています。ロータリーの皆様で出会えたことをとっても嬉しく思っています。これからもいろいろなことを学びたい。その後、自分の夢のために努力していきたいと思っております。最後になりますが、今後ともどうぞよろしく願いいたします。

### ●雑誌広報渉外委員会

瀬谷隆志委員



それでは、「ロータリーの友」の読みどころを紹介したいと思います。まず初めに横目次のほうを開いていただきまして6ページ、こちら「日本とアルゼンチン青少年の懸け橋が再開」ということで、青少年交換事業の再開をするそうです。こちらのきっかけとなったのが、在日アルゼンチン大使と当時青少年交換学生との繋がりがあったという内容を書かれておりますので、皆さんご一読いただければと思います。続きまして10ページその繋がりとということの内容が書いてありまして、当時留学した先のおじさんが大使になったというご縁があるそうです。続きまして、反対側の縦目次のほう開いていただきまして、こちら7ページ「50歳を機にトランスジェンダー公表、当事者の声を広め多様性認める社会へ」ということで、50歳にして一応男性として今まで生活してきた方が、50歳を迎えるにあたって性自認が女性であることを周囲に告白したそうです。これに伴っていろんな世間からの冷やかな反応もあったそうですが、今ではロータリーの会員として活動もしてるそうです。多様性を認める社会を作っていくためにロータリークラブが果たす役割も大きいのかなというような内容も書いてありますので、ご一読いただければと思います。最後ですが、ポリオについてです。3月30日現在、パキスタン1、アフガニスタン1、世界合計2となっております。

### ●親睦活動委員会

櫻岡俊之委員長

#### 結婚記念日

関谷亮一会員、村上堅二会員、吉野敬之会員、長克則会員、鈴木孝幸会員

#### お誕生日

前原俊治会員、鶴丸彰紀会員、松永紀男会員、堀田一彦会員、運天直人会員、根本あゆみ会員、山田顕一郎会員、穂積英一会員、石川格子会員、十文字宗博会員



■ポール・ハリス・ソサエティ 表彰状授与

●諸橋和典会員

ポール・ハリス・ソサエティをいただきました。ポール・ハリス・ソサエティというのは、毎年1,000ドル寄付することを約束するという事です。約束なので守らなきゃいけないんですけども、100%やらなくてもいいような状態で、まあ一応やっています。今、ロータリーレート160円なので5月中はちょっと高いので、6月になってから寄付される方は寄付したほうが若干安くなる可能性もありますので、どうぞ財団への寄付よろしくお願ひいたします。以上です。



●地区3大ラーニングセミナー委員会矢田部錦四郎委員長



皆さん、こんにちは。ベルマティさんの先程の話聞いてたら非常にわかりやすい日本語で、私のように訛りがひどい人に伝わりにくい言葉で非常に恐縮します。本当に素晴らしい日本語でした。ありがとうございました。私もできるだけ皆さんに伝わるように一生懸命喋りたいと思います。5月17日、それと前日16日のご案内を先日流しました。急遽急いだ理由は、弁当の数がやはり管理しないと皆さんの昼食がなかったりする部分もあったので、その締めが昨日だったものです。大体の人数は把握しています。ここにもう一度今日流します。16日と17日。それから、乗り合いで行きたい方は後で私のほうから連絡しますので、あと出欠出した人は確認の意味でもう一回回しますので、よろしくお願ひしたいと思います。それと17日に、今日A4の用紙を配りました。内容に関してちょっとお時間ないので、私今日例会終わっても残っていますので、内容見て不明な点とかあれば説明していきたいと思います。それと来週、再度細かいものを説明していきたいと思います。仕事は主に約300~400台の車の駐車場を管理していただく、誘導していただく、それが「ユラックス熱海」と「華の湯」さんの二つの駐車場。それと、シャトルバスに乗せて会場のほうに案内していただくという仕事かほとんどなんです。できるだけ多くのメンバーで入り口と2階への案内。そして、2階が9分科会すべての分科会会場になりますので、ちょっと入り組んでる部分があるので、そこのご案内をするという仕事。それと、全体会の会場が二つあるんですけど、普通でしたら一カ所で全体会やるんですけど今回は特殊モニターで2つに分かれて一つのモニターに写すという2会場使ったの全体会になるんですね。その会場を全体会終わったら、仕切り版があるんですがそれで仕切って分科会しやすいように2カ所やらなきゃならないと

いう作業があります。それは前日にどんなふうにしたら一番いいかというのは段取りしておきます。分科会において報告書作成についてのお手伝いと、写真を撮ったりするお手伝いが我々の仕事になってます。報告書に関しては今ボイスレコーダーを用意しますので、それを録音だけきっちりしていただければ、あとは編集はこちらのほうでやっていきたいと考えています。分科会は70分前半。そして、後半70分あります。そして、今回の3大セミナーの目的は地区役員全体の研修会なんです。それと、青木年度の委員長クラスの委員の研修になってます。それと、地区の委員長が来年金田年度で何をやっていくか。各委員会がどんなことをやっていくかという貴重な説明会になってます。ここをしっかりと研修して、金田年度をしっかりと盛り上げていただければと思います。これが最終の研修会になりますので、詳細はまた追って細かく説明していきたいと思ひますので、是非皆さんのご協力よろしくお願ひします。

●白河会議所新事務局員

林花菜子様



皆さん、こんにちは。白河商工会議所の林と申します。本日より、白河西ロータリークラブの担当を吉田と一緒に担当させていただきますので、まだわからず至らないところも沢山あるかと思いますが、よろしくお願ひします。

■本日のプログラム 会員卓話

●国際奉仕委員会

大竹憂子委員長



皆さん、改めましてこんにちは。本日は国際奉仕委員会のほうの担当例会ということで、私のほうで話をしろということだったので、国際奉仕の活動はポリオ撲滅活動これが中心とはなるので、ポリオに関しては今までもかなり地区のほうからも来ていただいて話をしたり、また私のほうからもいろいろと皆さんにご協力をお願いしたりとかということがあったので、特にポリオに関してあまり話すことはないんですが、まず、私もそのポリオについていろいろ調べ始めてからですけど、活動開始当時1988年ロータリーがポリオ撲滅運動始めるその当初は、なんと125か国でポリオがまだあったそうです。現在は、ロータリーの活躍でポリオが常在している国、それはアフガニスタンとパキスタンの二か国。現在はその二か国だけがまだ存在しています。あと1%ということで、現在も皆さんに頑張っただいてご協力いただいて、ポリオの撲滅運動、募金活動おこなっておりますが、只今一番の課題となるものが3つありまして、まずは紛争地域ということですね。治安が悪いので医療チームが立ち入れない、そういった地域。そこはやはり課題。それと誤情報、誤った情報が流れてしまってワクチンに対する不信感、また宗教的な誤解なんかがありまして、なかなかそこも問題点として課題になっています。それから、変異株。予防接種率が低い地域ではあるんですが、ワクチンそのもの、ワクチン由来のウイルスが変異して流行するケースが多々あり、

なかなかその監視体制が維持するのに難しい。こういったことが今、残り1%でなってる主な課題となります。先程、会長のほうからもありましたが先日の40周年式典の時に、泉田ガバナーのほうからもうちょっと頑張ったら県内でトップになれるよというお話がありまして、ポリオ募金をどのぐらいの目標に持っていけば今年度県内でトップになれるかちょっと今、調べてる途中なので、その目標が定まりましたらもうちょっと頑張ってみようかなとは思ってるんですけど。その中で、やっぱり期間がもうそんなないもんですからどのようにして募金活動をしていったらいいかアドバイスいただける方がいたら、是非私にのほうに声をかけていただけるとありがたいと思います。先日の40周年で約19万近くの募金が集まっております。細かい金額もあつたりするのは、これは一般の方からやっぱり募金をいただいている時にどうしても小銭が多いので、そういった形で細かい金額にはなってますが、あと10万位になったらもうちょっと頑張ったらいけるかななんてちょっと思ったりはしてるんですけど。やっぱり目標が50万とか言われたらまだまだ程遠いので、そこはもう諦めるしかないかなというふうに考えております。ですが、少しでも多く募金を集められるようにしたいとは思っていますので、一般の方にもご協力をいただく形を持っていきたいと思っていますので、何かあそこに行つて募金してきたらというのがあったら、是非教えていただけるとありがたいと思います。次年度は私青少年委員会のほうの担当になりまして、特に交換留学生、これに関しての担当となることがあるので、その事について残りはお話していきたいと思つています。資料が数は少ないんですけど、各テーブルでちょっとご覧になっていただければありがたいと思います。これは台湾から来る子の情報ですね。こちらが書いてありますので、どうぞ皆さん一通りちょっと目を通していただけたらありがたいと思います。これはジン・ジョウちゃんと呼ばばいいのか、チン・ジョウと呼ぶのが正しいのかが、ちょっと私もまだわかっていない部分がありまして。ただ本人はミヤと呼んでほしいということだったので、それがどこから来たミヤなのかちょっとわからないので、本人が来てから確認していこうかとは思つてはいるんですけども。7月までは中学3年生。8月から高校1年生というそういった子なので、本当に今、ホストファミリーの件も本当大変な思いをしておりますので、是非ご協力いただけるとありがたいと思つています。その中で見ていただきながらちょっと交換留学生の事に関していろいろお話していきたいと思つていますが、交換留学生の場合は単なる語学留学ではなく、草の根の親善大使。文化親善大使といったような役割を持った、そういった形で派遣されてくる、そのように考えていただけるとありがたいと思つています。ですので、交換留学生がこちらに来るようになりましたら、もちろん日本の文化を知っていただいたり、日本の言葉を知っていただく。これが大事でありますので、普段の日本の状態というのを彼女が学ぶ。そのような形になるということで、彼女に合わせて向こうの言葉で話さなきゃいけないとかということはないので、できるだけ日本語で接してあげてほしいと思つています。現地の言語とか文化、それに浸ると言いますか、それが一番の目的となっているのがこの交換留学生ということになります。

まずはロータリーの例会に出席して、台湾の親善大使として台湾の文化や住んでいる地域についてスピーチをしていたら、これが一番まず最初に行くことかなと思つています。ボランティア活動やイベント、これにも参加してもらいまして、それに対しての報告というのも例会なんかを通して皆さんに報告していただくような形になりますね。ロータリー独自の厳しいルールというのがありまして、4つのDというのがあるんですよ。運転禁止、飲酒禁止、薬物禁止、それから深刻な交際、要するに恋愛これも禁止ということで、この4つをきっちり守らなきゃいけないというのがありまして、皆さんの中にもこんな普通のルールだろうって思うかもしれませんが、これが前提とはなるので、皆さんにボランティア誓約書書いていただきましたが、それは皆さんで結局どこかイベント行く時とか、また例会来る時なんかを送迎なんかお願いすることが多々あると思つていますので、そういった点で皆さんにもご協力いただくような形になります。それから、白河西ロータリーの役割ということですが、留学生の安全を守り、充実した一年間を提供する。親代わり、そして教育機関としての重大な責任があるということで、調べたり学べば学ぶほどすごい大変な事になつてきたなと思つてはいるんですけども。私はこの白河西ロータリーのメンバーは皆さんが支えてくださると思つているので、私が一人で頑張らなくても皆さんに協力していただけると自負しております。それからホストファミリーですね。これは留学生が安全快適に過ごせる環境か事前に家庭訪問をおこなわなければいけないんです。また、今年度から福島県の2530地区でもホストファミリーの研修をおこなうことになりましたので、ホストファミリーになる方はこの研修に必ず参加していただくようになりますので、まだ日程が決まっていないので日程が決まり次第それは皆さんにもお伝えしていこうと思つています。そのホストファミリーですが留学生に多様な家庭環境を体験できるようにするというところで、1年間1カ所ではなくってという形になります。出来れば3か月ぐらいで別なところへという形にしたいと思つてますが、留学生これがまたそこに馴染めなかつたりとか、いろいろな事情が出てきた場合というのは、すぐにでもどこかに別なところへお願いするしかないんで、そういったことも考えると件数的には理想は2~3件と言われてますが、私の頭の中では5~6件最低は欲しいなと思つております。一番最初、第一ファミリーとして第一ホストファミリーとして、一応今回台湾に留学する菊地さんのほうにお願いしてはいます。ただ、長期休暇の夏休みに関してはどうしてもお母さんが仕事のため難しいということなので、20日ぐらいから引き受けていただいて、事前に学校の事とかいろいろ教えていただいたりしながら進めていこうかと思つているので、その20日ぐらいまでの間どなたかをお願いできればと思つております。本日今朝の話なんですけども、まだ向こうからの返事は来てないんですけど、こちらから来日日程を決めていいということだったので、8月4日の火曜日、福島空港のほうに来ていただくように私のほうで要請をかけました。多分こちらで言った日程で来てくれるんじゃないかということなんです。菊地さんに預かってもらうまでの20日ぐらいでも構わなかったんですが、実は学法石川の制服これがお店に行

って採寸してそのあと注文をかけて届くまでにやっぱり2週間くらいかかるということだったので。始業式が8月24日なので、それまでには制服とかが間に合うようにしてあげたいなと思ひまして、この8月4日という日程で進めていきたいなと思ひています。お盆前に注文しておかないと、2週間って考えるとやっぱり厳しいものがあるので、そこはちょっと早いんですけども、ですから8月4日から20日ぐらいまで見ていただけるホストファミリーを今後考えていきたいと思ひています。これ福島空港ということもありますので、お出迎えの時に是非一人でも多くの会員の皆さんと一緒にいていただけるとありがたいと思ひています。成田とか羽田なんていうとちょっと遠いので、やっぱり日程一日空けるって大変な事だから、福島空港だったらちょっと一緒に行ってもいいかなって思ひていただけるかと思ひましてその日程にいたしました。それからカウンセラーの役目として、精神面のサポート。まずは学校生活の悩みだったりとか、いろいろ不自由な点とかなんといってもまだ15歳の子なのでホームシックにかかるのではないかなと思ひますし、それと日本に来て慣れないとこでの人間関係、これにも悩みを抱えるのではないかなと思ひますので、そういう面でサポートをする必要がありまして、只今カウンセラーとして4名登録しています。私と齋藤愛さんと大竹ゆかりさん、それと高田さんのほうにも今日急遽お願ひしましてサインをいただきましたので、この4名でカウンセラーとしてやってこうとは思ひんですけども、意外となかなかカウンセラーの役目というの大きいので、どなたか私もカウンセラーやってもいいよという方いたら、是非お声かけいただければ追加で登録していきたいと思ひますのでよろしくお願ひいたします。それからその連絡調整これもカウンセラーの役目として、留学生とホストファミリー、それから学校、あと地区の青少年委員会。また、白河西ロータリーなどのその連絡の調整、これやってかなきゃいけない。まめに学校とかも私もちょこちょこ今、行ってはいるんですが、学校のほうともコミュニケーションとして、ジョウさんが日本に来て学法石川へ行って楽しい学生生活が送れるように思ひて、ちょこちょこ行きながらコミュニケーションをとってる今段階ではあります。これをカウンセラーの方達にも是非今後お手伝ひしていただくような形になるかと思ひます。それから、カウンセラーの役目としてもう一つが、お小遣いの管理。白河西ロータリーのほうからジョウさんのほうに毎月お小遣いとして渡すものがあるんですが、その管理もしていかなくちゃいけない。本人のお小遣いなのでどんなふうに使ってもいいのかなと思ひんですけども、やはりそこは日本だったらというのもあるのか、カウンセラーが管理をしてくださいということなので、これもまた一つの役目になります。それからロータリークラブ活動への参加提供ということで、例会への招待。先程も言ひましたが、そのスピーチの機会を与える。それから、会員との交流。これが大事ということで、まずそういう形で例会へ招待するような形になります。これが寂しいことに米山の留学生の方と反対で昼間

学校に行ってしまうので、夜例会しか参加できないかなと思ひます。ただイベントの時とかには一緒に参加できるかなと思ひますので、そういう時に仲良くなつていただけるとありがたいなと思ひています。それから社会奉仕活動として地域社会貢献の体験をさせる。これも一つ重要な事となつてくるということでした。それから、トラブル対応ですね。これがやはり一番難しいのかなと思ひます。病気だったり怪我、もしくは事故とか人間関係のトラブル。そういうことに対しまして、まず起きたらすぐに地区委員会や、あと派遣元、要するに台湾ですね。そちらと連携を取つて対応していかなければいけないという点がございますので、何事もなく一年間頑張つていただければそれでいいんですが、万が一いろんな事が起きるといふ想定だけはやはりしておかなきゃいけないなと思ひますので、これもいろんな職業の方がここにもいらっしゃるの、ある程度アドバイスのまたご協力をいただきながらやってけるかなと思ひますので、よろしくお願ひいたします。それから、まず当クラブのメリットとして交換留学生を引き受けることで何がメリットになるのかという、まずはクラブの活性化、これですよね。やっぱり今日も米山の留学生がいてこうやって若い方がいたりするととっても場が明るくなりますよね。それがすごく良いことであつて、また会員の国際理解が深まるのではないかなと言ひられています。もちろん、他のとこで交換留学生とか引き受けてるとこでは、かなりやっぱりこういうことで国際的に理解を深めるということができるようになったという話なので、白河西ロータリーもそのようになっていくと思ひます。それからあとは次世代の育成ということですよ。異国の若い留学生、この成長を間近で見守ることができる。これはとても大きな事だと思ひますよ。ここにいらっしゃる皆さんもそうですし、地区全体的にもそうだと思うんですけども、ロータリアンにとって大きな喜びとなつて公共奉仕への意識が高まる、そのように言ひられています。受け入れクラブは留学生にとって日本の家族であり責任はとっても重いんですが、その分得られる感動これも大きい。そういう活動が交換留学生の事業となりますので、皆さん今後も是非ご協力よろしくお願ひいたします。



創立40周年記念事業 5月12日  
故白河町長 藤田新次郎君碑解説板設置